

祝

20歳おめでとうございます！



— 目 次 —

P 2 村のできごと

P 6 議会だより

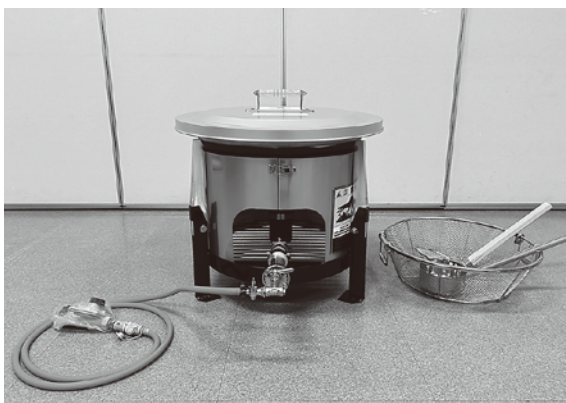
P14 確定申告のお知らせ

P16 今月の情報

P20 イベントカレンダー

ほか

11/6 日本赤十字社から 移動炊飯器が貸与されました



日本赤十字社から日本赤十字社山添村分区へ移動炊飯器が貸与されました。日本赤十字社は、多くの方々からの社費や寄付金を元に様々な活動を行っています。

この移動炊飯器はガス仕様で軽く、簡単に組み立てることができ、現場での炊き出しに便利です。非常時に50人から100人分の防災食の調理を行うことができます。

今後防災訓練や災害時の炊きだしで活用されます。

12月 市町村対抗子ども駅伝大会の 代表選手が決まりました



令和8年3月7日(土)に橿原運動公園で第21回市町村対抗子ども駅伝大会が開催されます。県内の小学5、6年生を対象として体力向上や子ども同士の連帯感を養うことを目的に行われ、本村からは、やまぞえ小学校の校内マラソン記録会の成績を参考に選抜された8名が出場します。

選手たちは昨年末から、日々の練習に熱心に取り組む、またその他記録会等にも積極的に参加し、着々と実力をつけています。

皆さまの温かい応援をよろしくお願いいたします。

【出場選手】

男子：中辻桜奨、玄場悠介、中西章太、稲久保衣十
(後列左から順に)

女子：乾美緒、東久保菜月、中辻ゆあ、井岡望晴
(前列左から順に)

10/16 生涯スポーツ功労者表彰を 受賞されました



山添村総合型地域スポーツクラブに所属している奈良アスレチックス山添(通称：AC山添)の監督である西岡真希さん(菅生)が、文部科学大臣より令和7年度生涯スポーツ功労者表彰を受賞されました。

この賞は、地域又は職域におけるスポーツの健全な普及及び発展に貢献した方へ贈られるものです。西岡さんは、平成21年に設立したAC山添で陸上競技チームの監督として運営等に尽力され、小・中学生に熱心な指導を行っておられます。

この度の受賞を心よりお慶び申し上げます。

11/23 山添村勤労者球技大会が 開催されました



今年で第50回となる山添村勤労者球技大会がスポーツセンターグラウンドにて開催されました。本大会は、普段お仕事をされている方々がお互いの親睦と交歓を深めることを目的として行われています。

今回はソフトボールの5チームが参加し、総当たりの試合となりました。結果は、山添ヤンキースが昨年度優勝チームのレッドソックスを破り優勝、エンジェルスJr.が準優勝しました。どの試合も白熱した戦いが繰り広げられ、大いに盛り上がった活気ある大会となりました。

12/5 「税の作文」 入賞おめでとうございます



国税庁と全国納税貯蓄組合連合会が中学生を対象に、将来を担う中学生の皆様が、税について関心を持ち、正しい理解を深めていただくことを目的に税の作文を募集され、山添中学校からは以下の二年生の二名の生徒が表彰されました。

○山添村長賞 くりばやし い 栗林瑠采さん(西波多)

○桜井税務署管内 かわばた み お 租税教育推進協議会長賞
川畑美央さん(西波多)

このたびの受賞を心よりお慶び申し上げます。

12/5 大和茶振興学習会が 開催されました



山添村茶生産組合青年部の主催で山添中学校1年生を対象に、大和茶振興学習会が開催されました。

急須を使用したお茶のいれ方の実習では、お茶のうま味を出すための湯の温度や浸出時間など細かな指導を受け、自分達でいれたお茶を味わいました。

また、香りや味からお茶の種類を当てる闘茶(きき茶)会も行われ、回数を重ねるごとに茶の違いを見極められるようになり、村の特産品である大和茶についての知識が深まりました。

1/11 消防出初式が挙行されました



消防活動の仕事始めとなる恒例の消防出初式を1月11日、山添村役場大会議室で開催しました。式典には消防団員をはじめ、来賓や主催者など約60人が出席しました。

地域の安全に長年貢献した消防団員に対し、その功績を讃え、9名の方に表彰状が授与されました。団員の方々は来賓の方より今後の消防活動への激励をうけ、地域消防の責務と重要性を再認識されていました。

また、高市早苗総理大臣をはじめ、日本消防協会など多くの方から祝電をいただきました。

12/7 千葉すずさんの運動教室が 開催されました



元オリンピック日本代表選手(競泳)の千葉すずさんによる運動教室が山添村役場にて実施されました。この教室は、奈良県南部東部振興基本計画対象の市町村に講師を派遣し、身近に実践できる運動・スポーツの楽しさを啓発し、運動習慣の定着を目的とした奈良県のスポーツ事業の一環です。内容は、ピラティス(体幹を中心に全身の筋肉をバランス良く鍛えるエクササイズ)を行いました。

参加者全員が明るい雰囲気の中で楽しく取り組んでいました。今回のような教室を通して、多くの方々が運動やスポーツに親しむきっかけになればと考えています。

山添村立山添小中学校建設工事の進捗状況

現在改修工事中の校舎内部の一部を紹介します。

解体工事が中盤に差し掛かり、天井は全て撤去されました。また、壁・建具の解体が8割ほど終わりました。

今年の夏竣工に向けてほぼ予定通り工事が進められています。



新しい教室に向けて
工事を進めています



図書ラウンジも
壁と建具が解体されました



エレベーター棟は基礎の上に
鉄骨が出来上がってきました

大和まほろばネットワークニュース



大和まほろばネットワークの市町村のつながりを深めるために、圏域市町村（天理市・山添村・川西町・三宅町・田原本町）の情報を、広報誌に隔月で掲載しています。今月号では、天理市の情報を紹介します。

● 天理市 ● 無料のプログラミング体験イベントを開催

TEPIA 先端技術館（東京・北青山）が全国展開する「プログラミング体験広場」を天理市で初開催。難易度別の6種類の教材を体験できます。プログラミングで小型ドローンの飛行や、ロボットでのお絵描き、電車の操作に挑戦してみませんか？

当日は県内大学の学生がチューターとしてみなさんの体験をサポートします。初心者から経験者まで楽しみながら学べる無料のイベントですので、ぜひご参加ください。



- ▶日時 2月22日(日)
午前10時～午後3時30分
(最終 午後3時)
- ▶場所 天理市文化センター

- ▶所要時間 各回約30分
- ▶定員 各回32名
- ▶参加料 無料
- ▶主催 一般財団法人高度技術社会推進協会(TEPIA)
- 後援 奈良県、天理市、天理市教育委員会

☆参加には事前のご予約が必要です。
詳しくは市ホームページ(QRコード)をご確認ください。

伊賀城和 定住自立圏

伊賀城和(伊賀・山城南・東大和) 定住自立圏ニュース

伊賀市は、京都府笠置町・南山城村、奈良県山添村、三重県名張市と定住自立圏形成協定を締結し、医療や防災、観光などの事業に連携して取り組んでいます。ここでは、構成市町村のイチ押しスポットなどを紹介します。

伊賀市

伊賀上野・城下町のおひなさん

上野本町通り周辺の店舗などで新旧さまざまなひな人形を、登録有形文化財「赤井家住宅」ではガラスで作られたひな人形を展示します。

また、各店舗ではおひなさんにちなんだ期間限定ランチやお菓子などの販売も行われます。

おひなさんが彩る伊賀上野城下町でまち歩きを楽しんでみませんか。

【とき】 2月6日(金)～3月3日(火)

☎ 伊賀市観光振興課 ☎0595-22-9670(平日)

伊賀市観光インフォメーションセンター

☎0595-51-9743(土・日・祝)



名張市

冬のごほうび! いちご狩りをしませんか?

冬のさむ～い日でもおすすめ!
色々な品種のいちごを、暖かいハウスで30分間食べ放題!

甘みがギュッと詰まったいちごが堪能できる青蓮寺湖観光村にぜひお越しください!

【とき】

1月5日～5月中旬

午前9時30分～午後4時

(最終受付:午後3時30分)

【休園日】 水曜日(祝日を除く。)

※15人以上は要予約。入園料など詳しくはホームページをご覧ください。

☎ 青蓮寺湖ぶどう組合いちご部

☎0595-63-7000



笠置町

第18回笠置町フォトコンテスト

笠置町の四季折々の自然景観・史跡・文化財・観光施設・祭事などを題材とした写真を募集しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。

たくさんのご応募お待ちしております。

【申込期限】 2月27日(金)

※当日消印有効

【申込方法】 郵送・持参・メール

☎・☎ 〒619-1303 京都府相楽郡笠置町笠置西通90-1

笠置町希望のまち推進課内

「第18回笠置町フォトコンテスト」係

☎0743-95-2327

E-mail:kibou@town.kasagi.lg.jp



▲第17回最優秀作品
「笠置寺正月堂」



南山城村

南山城村のお茶の魅力を伝える 日本茶サロン「麩屋柳緑」

京町屋を生かした上質な空間で、南山城村の濃厚抹茶スイーツやこだわりの茶葉を販売。道の駅で大人気の商品も京都市内で購入できます。

また、一杯ずつ点てられた南山城村の抹茶をオリジナルのお菓子とセットで楽しめます。

麩屋柳緑で贅沢な時間を過ごしてみませんか。

【ところ】 京都市中京区麩屋町通六角上ル白壁町439

【営業時間】 午前11時～午後6時

【定休日】 水曜日

☎ 麩屋柳緑 ☎075-201-7862



山添村議会定例会の結果

第4回定例会を、12月4日から12月15日まで12日間の会期で開きました。

条例の一部改正、令和7年度補正予算、その他工事請負計画の変更などの議案が提出され、採決の結果1件の修正可決を除き、残りは全件可決となりました。また議員発議の修正動議が1件提出され可決となりました。

その概要を要約してお知らせします。

図 議会事務局(総務課内)

提出議案とその審議内容

「 条 例 」

▼特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について(全会一致で可決)

▼山添村実費弁償条例の一部改正について(全会一致で可決)

▼特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について(全会一致で可決)

▼職員の旅費に関する条例の一部改正について(全会一致で可決)

国家公務員等の旅費に関する法律が改正されたことを受け、その内容に準拠して本村職員及び特別職の旅費の改定を行いました。

▼山添村立学校設置条例の一部改正について(賛成多数で可決)

山添分校を、令和11年3月31日で閉校とするため、条例の改正を行いました。

〈反対討論〉 奥谷和夫 議員

山添村立奈良県立山辺高等学校山添分校は70年以上の歴史を持ち「本州唯一の村立高校」として、村の将来を担う若者を社会に送り出してきた。近年はいじめや不登校など困難をかかえた生徒を受け入れ、その成長を育んできた。村内外から生徒が通い、その存在は他に代えがたいものであり、村民の誇りともなっている。そのことは本校化と存続を願う

3000人を超える多数の署名にも現れている。山添村議会では、令和7年3月議会において「山添村立奈良県立山辺高等学校山添分校の本校化を求める決議」を採択しているが山添村や山添村教育委員会は、令和8年度からの山添分校の入学募集を停止し、閉校に向けて手続きを進めている。今年8月の村長選挙での再選を、分校本校化を断念し、廃校へと進める最大の根拠としている。首長と議会は二元代表制を取っている。我々議員も再選しており、村長の再選をもって分校の廃校が信任されたとは言えない。山添分校を必要としている多くの卒業生や生徒たちのため、また山添村の将来のために山添分校を本校化し、存続することを強く求め、反対する。

〈反対討論〉 野村信介 議員

山添村立奈良県立山辺高等学校山添分校を廃校にするというものであるが、執行部の山添分校に対する誤った認識が根底にあると考えている。学校に通えない生徒たちが増えており分校は受け皿となってきた。小さな村であっても、学校を維持していくことで、村として村民の誇りを持つことができた。学校関係者や卒業生などの努力もあり創立以来80年近く村がこの学校を維持することができたのである。昨今小さな学校の価値が見直されている。世界の情

勢を見れば、学年に数十人しかいない、1クラスしかないような小さな学校の教育システムが見直されつつある。山添分校が伊賀市や名張市などを中心に村外の学生を受け入れてきたこの教育スタイルはさらに注目を浴びるはずである。この学校を維持していくことは村の価値を上げることがあったとしても、下げることではないものだと考えている。この形で運営していけば、本校化をして費用面で重荷になることは考えられない。山添分校があることで、地方交付税が毎年3000万円以上計上されているが閉校することによってこれを失うことにもなる。この決断は村をより小さな弱いものにしてしまいかねない。村を輝かせるカードを持っているのに捨ててしまうことになってしまふ。

本校化を望む多くの方々の署名、3月議会でも本校化を望む決議が可決されていること、これらに全く反対の決定を下した村長は説明が足りないと思う。さらに、今までの議論の中で分校が廃校になった後、学校法人や専門学校等に農業の教育を任せたいことも可能性として言及されていた。何か別の教育機関に肩代わりするということも含め、分校を廃校していくという説明が足りないと考え、時期が早すぎるという立場で反対する。

▼山添村子ども・次世代応援医療費
助成条例の一部改正について

子育て世代の負担軽減のため子どもに係る医療費無償化に取り組む必要があると考え、自己負担を無償化する改正。また、民法の改正により、令和4年4月から成年年齢が引き下げられたことを受け、医療費助成の対象年齢を引き下げる改正を提案しました。

○条例案に対する修正動議（全会一致で可決）

自己負担額の無償化については賛成であるが、対象年齢については引き下げる必要がないと考え、対象年齢をこれまでどおりの20歳とする修正動議が奥谷議員から提出され可決されました。

○修正議決した部分を除く原案について（全会一致で可決）

▼山添村ふるさとセンター設置条例の一部改正について（全会一致で可決）

ホール自体を使用せず、駐車場のみ使用する要望が増えており、施設を適切に管理運営するため、各施設の駐車場を占有する場合、施設利用料の半額を、また利用料金規程のない図書室を占有する場合の利用料の明確化、及び営利目的施設を使用する場合に使用料を増す範囲を拡大する改正を行いました。

▼山添村簡易水道事業給水条例の一部改正について（全会一致で可決）

一月の簡易水道料金の算定方法は、「検針日の属する月の基本料金」と「前月の従量料金を徴収する形となっておりましたが、これを「前月の基本料金」と「前月の従量料金」の同じ月分に合わせて徴収する形に改正を行いました。

【補正予算】

▼令和7年度山添村一般会計補正予算（第5号）について（全会一致で可決）

▼令和7年度山添村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について（全会一致で可決）

▼令和7年度山添村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について（全会一致で可決）

▼令和7年度山添村介護保険特別会計補正予算（第2号）について（全会一致で可決）

▼令和7年度山添村簡易水道事業会計補正予算（第2号）について（全会一致で可決）

▼令和7年度山添村一般会計補正予算（第6号）について（全会一致で可決）
※前記補正予算6議案については、一括して審議。13頁参照。

【規約】

▼天理市、山添村、川西町、三宅町及び田原本町一般廃棄物の処理事務委託に関する規約の一部改正について（全会一致で可決）

し尿処理について、安堵町が同町の処理施設の老朽化に伴い令和8年4月1日から天理市に新たに処理事務委託を行うことにより、規約の事務委託の対象市町村を追加する必要があるため、地方自治法の規定により本規約の改正を行いました。

【契約】

▼財産の取得について（全会一致で可決）

取得財産 ノート型パソコン 60台
入札方法 一般競争入札
金額 15,345,000円
契約の相手方
三重県伊賀市問屋町83番地
フタバ器械株式会社
代表取締役 村井洋介 氏

〈賛成討論〉 三宅正行 議員
パソコンを概ね5年ごとに買い換えるというものであり、Windows 11対応を考慮したものである。ノートパソコン1台当たり25万5000円は高額に思えるが、日常の業務が滞っては困るため賛成する。

▼工事請負契約の変更契約の締結について（全会一致で可決）
工事名 山添村簡易水道（切幡地区）
水道施設改良工事
（配管その4）
相手 株式会社松下組
代表取締役 松下博之 氏
契約金額の変更

（変更前）78,100,000円
（変更後）79,396,900円
▼工事請負契約の変更契約の締結について（全会一致で可決）
工事名 山添村簡易水道（切幡地区）
水道施設改良工事
（配管その5）
相手 株式会社協組
代表取締役 脇 義宣 氏
契約金額の変更
（変更前）122,485,000円
（変更後）113,010,700円
▼工事請負契約の変更契約の締結について（全会一致で可決）
工事名 山添村簡易水道（菅生地区）
水道施設改良工事
（配管その1）
相手 株式会社栗田建設
代表取締役 栗田一紀 氏
契約金額の変更
（変更前）83,667,100円
（変更後）86,414,900円

【その他】

▼公の施設の指定管理者の指定について（全会一致で可決）
《公の施設》
所在 山添村大字伏拝地内
名称 神野山ふれあいの森関連施設
（茶の里会館、生産物直売所
森林科学館）
《指定管理者》
所在 福岡県福岡市中央区天神

7 2026.2 広報やまぞえ

三丁目1番1号

ソーシャルベンチャーPA

RK福岡

団体名 株式会社ボードレス・ジャパン

代表取締役 鈴木雅剛

期 間 令和8年4月1日から
令和13年3月31日まで

〈賛成討論〉 奥谷和夫 議員

フォレストパーク神野山は本村で一番の観光地である。本案の対象は、その中でも中心的な施設であり、それにふさわしい位置づけとその対応が求められている。1点目に映山紅などの施設は指定管理者が多額の赤字を出してうまくいかなかったという事例が多く見られ、村として対応の財政的支援が必要であると考えらる。2点目にツツジの名所、聖武天皇の勅願寺である神野寺、関西一の星空、神野山を天空に見立てた鍋倉などのイワクラ、そしてめえめえ牧場の羊など、フォレストパーク神野山の持っている資源や可能性を最大限引き出す必要があると考える。3点目に人的資源やノウハウを活かすことである。コンサル等のアドバイザーも否定しないが、村にはこれまで培ってきたノウハウがある。神野山観光協会、村観光協会、オサカ産業をはじめとした関係団体や退職者なども含めて知恵を借りることが必要ではないか。4点目に、ボードレス・ジャパンの常駐体制が必要である考

える。現地で常駐体制をとっていたべく体制強化などを要望する。以上4点を申し上げ賛成する。

〈賛成討論〉 野村信介 議員

議員による質問に対して具体的な計画を聞かせてもらっていない。ソーシャルビジネスをモットーとしており、これは社会的な地域の問題をとらえて解決していくことを会社が一番の方針だとされているが、小さな山添村における社会的問題はどのようなものかと聞いても、まだ把握がこれからだと言われた。ソーシャルビジネスの展開は外国で盛んにされているという印象を受けている。山添村のような小さな山村の観光施設に介入する事業も今回が初めてだということであった。山添村で何をしたいのかまだ確固たるものが決まっていけないということに不安がないわけではない。しかし、この会社の若くて柔軟な姿勢を評価するところである。どうしてソーシャルビジネスをやるうとしたのかという質問に対し、山添村の観光にける熱心さを理由の一つにされた。地域振興課の努力の賜物だと思う。関連施設、団体、地域の住民と連携をとって、地域と一緒に強みや挑戦を促進していきたいという考えを示されている。このようなことから、住民、地域の意見を十分に取り入れていただきたい。今まで映山紅や神野

山の観光に強い思いを持ってきた地域の方々がたくさんおられる。自分の生活を顧みずエネルギーを注いできた方々もたくさんおられる。こういったことをよく認識して進めていただけるのであれば、ボードレス・ジャパンを応援したいと考え、賛成する。

▼天理市との定住自立圏形成協定の一部変更について(全会一致で可決)

「定住自立圏構想推進要綱」の一部改正に伴い、「第3次大和まほろば広域定住自立圏共生ビジョン(第2版)」の内容を変更する必要があることから、本村と天理市とで締結している協定の一部を変更しました。

一般質問と答弁の要旨

質問と答弁を要約して掲載しています。

【質 問】 植田誠輝 議員

▼奈良交通東山線のバス運行補助事業の継続と奈良方面村民送迎バスの運行について

1. 本年度末をもって、奈良交通東山線のバス運行補助事業が終了すると聞き及んでいるが学生をはじめ多くの村民が利用しており、特に奈良方面に通学する学生は奈良交通の始発バスを利用しないと始業時刻に間に合わない状況にあ

り、当該事業の継続を強く望む。実証実験の結果を踏まえ、次年度の予算編成の詰めのためであると思慮するが具体的なかつ明確な答弁を望む。

2. 奈良方面村民送迎バスの運行について、県道月瀬三ヶ谷線の大塩・箕輪間の改良工事がほぼ完了していることから、大塩から北野への運行ダイヤを変更し、大塩・箕輪・堂前・助命・伏拝のルートに変更すれば多くの村民の利便性が図れ、利用者も増えると考えが村長の見解を問う。

【答 弁】 野村 村長

奈良交通東山線のバス運行補助事業について、令和5年度から奈良方面へのコミュニティバス運行とあわせ実証実験として行ってきた。令和5年度以前から奈良交通東山線は北野から奈良方面へ運行されていたが、奈良方面への学生の通学については利用者が少なく、多くは保護者が送迎している現状があった。その要因として「バス運賃が高い」「時間がかかる」との声があった。そこで、その要因が本当にバス利用の障害となっているかを検証するため、山添村のコミュニティバスの構想にあわせ、山添村役場発着で奈良方面への低料金(1回利用200円)での、コミュニティバス運行の実証実験を開始した。また、実証実験の開始にあ

たり、奈良交通から、実証実験を行うのであれば、奈良交通の東山線にも1回200円で利用できるよう運賃補助をすれば、利用可能対象のバスの本数がコミュニティバスだけより増えるので、多くの検証結果を得られるのではとの提案もあり、奈良交通東山線の運行補助を開始した。この間、コミュニティバスの利用者は、実証実験前のバス利用の状況より格段に増加しており、低料金であればバス利用は増加するとの検証結果が得られた。また、路線を大西の役場まで延長したことにより大西から奈良方面へのバス利用も増加しており、大西周辺からの奈良方面へのバス利用ニーズがあることがわかった。この検証結果を踏まえ、村としては、令和8年度以降も奈良方面への低料金でのバスの運行を決定した。奈良方面の本格運行については、以前から奈良交通に路線を大西まで延長し運行できないかとお願ひしていたが、延長に係る村の経費負担が予想を上回る高額となること、また最近のバス業界の運転手不足もあり奈良交通の路線延長は断念した。そのため、令和8年度からは、奈良交通東山線の運行補助は終了し、村の奈良方面コミュニティバスを、実証実験から本格運行として継続運行することとした。村のコミュニティバスには、現在のバスダイヤでは、「朝、学

校に間に合わない」「帰り遅くなってバスがない」などの声が寄せられている。そのため、現在その声に対応すべくダイヤ改正を検討している。ただ、村のコミュニティバスは、平日の通勤、通学、通院、買い物対策としており、土日の運行までは対策できていないのが現状である。今後は、名張方面、伊賀方面のコミュニティバスの土日運行ニーズの状況、経費負担とあわせ、検討してまいりたい。令和8年度の奈良方面へのバスについては、大幅な変更となるが、村の現状をご理解いただき、バスの運行にご協力お願いする。

次にコミュニティバスのルート変更については、大塩から北野間においては他の大字を經由していないことから、ご提案のとおり迂回しても影響は少ないと思われる。ただ、路線を変更するには県、運輸局、交通事業者、村などで構成される山添村の地域公共交通会議での承認を受け、その後運輸局への変更申請を行う必要がある、路線変更の有効性、運行時間延長に伴うダイヤ改正が可能かどうかも含め検討してまいりたい。

【質問】

大谷敏治 議員

▼熊対策について

1. 多くの自治体で緩衝地帯の整備に取り組み、被害の軽減と生態系の調整を図っている。柿など放任

果樹については鳥獣被害を引き起こす要因といわれる。放任果樹の伐採などを事業として位置づけ計画的に取り組むべきと考えるがわが村のご見解をお伺いしたい。

2. 鳥獣保護管理法の改正を踏まえ、捕獲体制の強化が急務であると考えるが、住民の命に直結する問題である以上、机上の計画にとどまらず、どのように現場での実効性を確保するのか、わが村のご見解をお伺いしたい。

3. 熊の苦情は動物愛護だけでは語れない複雑な背景がある。苦情対応に備えた体制の整備が必要であると考える。よくある質問や誤解に対する説明を整理した資料を事前に作成し職員が迅速かつ冷静に対応できる環境を整えるべきであると考えるが、わが村のご見解をお伺いしたい。

【答 弁】

野村 村長

柿などの放任果樹は熊を引き寄せるとの認識している。

今年5月に、車のドライブレコーダーに熊が撮影された際に、熊対策として誘引物となる柿や野菜ゴミなどは撤去に努める旨を記載したチラシの配布や村の情報アプリで注意喚起を行っており、村民の皆様には熊や動物をおびき寄せる基となるものの除去に努めていただくようお願いする。なお、木の伐採の事業化であ

るが、国が来年度予算にて交付金事業化する方向性を確認しているのので、国の支援を受けて事業化を検討したいと考えている。

次に、鳥獣保護管理法改正への対応及び熊駆除に関する体制の整備については関連する内容となるので、併せてお答えする。ツキノワグマは、奈良県の保護管理計画に基づきこれまで個体数を維持するために狩猟することを禁止し、保護する動物として、捕獲しても殺処分せず人間に慣らす学習をさせてから再度、山に戻すとされてきた。しかし、今年度の全国的な出沒数や人身被害の増加から、銃を使用して現場で直ちに市町村の判断で捕獲する「緊急銃猟」制度が今年9月に法改正にて整備された。これを受け県も存在しないとされてきた本村等での個体確認なども考慮され、狩猟禁止は維持しながら、人への被害や農林業被害防止のため、集落内や農地などの「集落ゾーン」においては、一定条件を満たす場合は殺処分とする方針と変更が行われた。国も、熊総合対策として緊急銃猟に対する実施経費全般を支援する交付金事業を令和8年度に予算化する方向で進められており、村はそれを活用して次年度の熊が食料確保に動き出す秋までに本格的な体制構築を目指したいと考えている。ご指摘の通り、村民の命に直結する問題

であり、体制構築は急務であるとの認識から、奈良県猟友会山添支部とも話し合いの場を持ち、有事の際への協力依頼と体制構築に向けた課題等について意見交換行っている。ハンターの皆様からは、熊という危険鳥獣への発砲経験がないことや、駆除作戦が未確立であること、所持している銃の性能が熊に対応できるのか不確実などの懸念が出され、対策を実施する側の安全にも万全を期した体制構築の必要性を改めて認識しているところである。そういった観点を総合的に網羅した体制を整えるためには国等の支援や、専門家の支援が必要と考えているが、現在、国や県からは、駆除作戦を明記した対応マニュアル等の指導などが無い。近隣市町村におかれても現在、暫定的な対応規定を作成する動きを進められている途中と伺っており、優良先進事例の提供等の協力を得ながら、管轄の天理警察署や、猟友会山添支部とも協議を継続し、隣接市町村と歩調を合わせて暫定ではあるが対応規定を作成し、有事にも対応できる体制を早期に整えるよう進めてまいるので、誘引物となる放任果樹の採取や野菜・ゴミ等の除去の徹底などについて引き続きご協力を願います。

【質問】 奥谷和夫 議員

▼過疎化が進む中での高齢者支援について

1. 高齢者支援について各課にまたがる課題とその対策を民生委員、社会福祉協議会、サロン活動関係者、ここさなどとのボランティア団体の協力を得て、見守りや配食サービスなどと合わせて総合的に取り組んではどうか。

2. 高齢者の通院、買い物支援については、コミュニティバスとともに、社会福祉協議会の有償運送「やまぞえ福祉タクシー」の充実に取り組んではどうか。

3. ごみ出しに困っている世帯や個人の把握、集積場の位置変更や増設、助け合い組織の結成などを検討してはどうか。

【答 弁】 野村 村長

本村の高齢者支援については「山添村高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画」の基本的な考え方の中で「介護保険事業の推進」「高齢者福祉事業の推進」を方向性として示しており、支え合いの基盤づくりとして「地域包括支援センターの機能強化」や「生活支援体制の整備」などを挙げている。平成29年度から介護保険・地域支援事業の生活支援体制整備事業を社会福祉協議会に委託しており、生活支援コーディネーターが中心となって協議体を設置し、住

民・社協・行政の協働による支え合いの仕組みづくりや、地域に向かい住民の声を拾える体制づくりを進めてきた。令和6年度からは、生活支援体制整備事業も含めた地域包括支援センター業務全般を社会福祉協議会に委託しており、医療・福祉の専門職を専属配置して、高齢者を地域で支える体制の中核的機関として活動してもらっている。地域包括支援センターが主となり、2か月に一度は「地域ケア会議」を開催し、医療機関・社会福祉協議会・事業所・行政などの関係機関の参加のもと、地域の課題や困りごとなどの取りまとめと対応策の検討を進めている。

次に、高齢者の通院、買い物対策については、現在コミュニティバスで、奈良方面は「奈良市立病院」・「ザ・ビッグ」、伊賀方面では「岡波総合病院」「上野市民病院」「マックスバリュ」に、名張方面でも「マックスバリュ」に停車し通院・買い物に対応している。また、社会福祉協議会の福祉タクシーについても、村の重要な公共交通として位置づけ、村から運行に對しての補助金に加え、70歳以上の高齢者の利用に関しては、利用料の補助を行い、高齢者の通院・買い物の支援を行っている。今後も、高齢者を取り巻く環境は厳しい状況が続くと予想されるため、村として現在の通院・買い物支援を継続してまいる。

最後に、ごみ出しについて、環境衛生課がリサイクル推進員会議を通じて、ごみの分別や出し方を村民の皆さんに周知し、意見交換をさせていただいている。現在のところリサイクル推進委員さんからは高齢者がごみ出しに困っているといった話をいただいている。また、村民さんや区長さんからも「高齢者のごみ出し」についての相談はない。次に、ごみ集積場の位置変更や増設について、ごみ収集車が大型車両のため集落内への進入が困難であるといった事情はあるが、村民の皆さんの利便性を考え、できる限り要望に応じていきたいと考えている。最後に、助け合い組織の結成については、「社会福祉協議会」「有償ボランティアグループ」ここさと「奈良コープ」など、関係各所と連携して、地域の見守り、買い物支援、高齢者のごみ出し等の現状について把握し、支援の必要性について今後も検討を行いたいと考えている。

【質問】 今本俊二 議員

▼米寿・白寿等の長寿祝い訪問の誕生月での実施について

9月は敬老月として、米寿、白寿並びに高齢者の方々を村長が訪問されることは、当該の方々にとっては大変な喜びであると思う。しかし、88歳、99歳を迎えられた方の多くは別の誕

生月であると思う。誕生日は個人それぞれにとっては特別な日であると考ええる。誕生日当日とはいかないが、その月中での訪問なり長寿のお祝いできないものか。

▼村内県道の軽微な修復・維持管理工事の地元施工の実施について

本村においては村道、農道、里道、水路等において、地元施工(業者含)による補助制度がある。県管理道路においても軽微な道路補修、維持管理工事について、現状の全て県任せから大字若しくは山添村の裁量による村内業者等への依頼、施工、県からの費用負担というシステムができないものか。工事の発注から竣工までがスムーズに進み、工期の短縮にもつながると考える。村から県関係機関へ提言してもらえないか。

【答 弁】 野村 村長

米寿・白寿等の長寿祝い訪問の誕生日での実施について、毎年9月の老人の日・老人週間に合わせて「米寿」「百歳」「男女最高齢者」のお祝い事業を行っている。対象となる方は、「米寿」が当該年度の12月末現在において88歳である方、「百歳」が当該年度の3月末現在において百歳である方、「男女最高齢者」が9月1日現在において存命の方を対象としている。米寿・男女最高齢者は村の事業であるが、百歳の事業は、国・県の事業を併せて実施している。ご質問

にあるように、誕生日はその人にとって特別な日であり、身近な方がお祝いをされているかと思う。村としては、国・県が実施している「老人の日記念事業」に合わせた取組を継続し、9月の敬老事業として対象となる方への訪問、記念品等の贈呈を行っているいきたいと考えているので、ご理解いただくよう、お願い申し上げます。

次に、県道の件について、村民にとって通勤・通学、生活、経済活動の基幹的重要インフラである。ゆえに各地域からの要望も多く、毎年奈良土木事務所へ要望書提出を行っている。ご指摘のとおり、要望箇所の修繕や改修が完了していない箇所も多数継続で残されている現状は憂慮すべきと考えており、定期的な進捗確認なども行っているが、「財源の都合上、優先順位を付けながら順次取組む」として、多くの箇所が対策を待っている状況である。ご提案いただいている自治会などの施工については、今年度の要望活動において状況打破のために、管轄外であるが、重要インフラであり村民生活の利便性向上にも関わるので、村が汗をかき業務委託を受けて施工するなどができないかとの提案を行ったが、県からは「基本的には市町村や地元自治会にお願ひするべきものではない」との認識を示されている。しかし、県

としては山間部の道路の大きな課題となっている民地の支障立木の伐採業務を市町村に業務委託する事業を令和8年度から実施する方向で進められていると伺っており、村としては受託する方向で検討したいと考えている。地域要望の早期完了のため、同様の手法による「地域施工対象範囲の拡充」を今後も要望してまいりたいと考えている。

【質 問】 三宅正行 議員

▼女性職員及び障害者の採用について

職員の男女割合について、村民は半分以上女性であり、かつては女性の課長もおられた。意図した結果ではないと思うが、女性職員の割合が少なくないか。

また、障害を持つ方の採用はどうか。令和8年度から、障害者雇用率3パーセント以上と厚生労働省で定められた。女性の活躍、障害者の雇用は多様性の発展でもある。村長の考えは。

【答 弁】 野村 村長

女性職員の割合について、庁内の正職員54名、そのうち女性職員は12名で、比率は22%となっている。地方公務員の採用時女性比率は約40%であり、その比率と比べると少ない傾向にある。採用時は、その受験者の学力、経験、能力などを総合的に判断し、男女の区別なく可否を判断し

ており、結果的に現在の男女比率となっている状況である。今後は、すべての職員が子育て、介護等の事情により退職をしなくてもよい、働きやすい職場づくりを目指すとともに、特に女性職員にとって魅力のある職場にすることで、職員全体の女性比率向上に努めてまいる。

次に障害を持つ方の採用について、村では退職者の補充を最優先にしており、最近の社会情勢の多様化に伴う業務増大に対応すべく職員採用を進めている。現在も来年4月採用職員の採用試験に向け準備を進めている。今後、障害を持つ方の採用試験については、国、県の方針を理解するとともに、他の市町村の状況も踏まえ対応してまいりたいと思う。なお、現在山添村役場において、国の基準の障害を持つ方の雇用者数については、基準を満たしている状況である。

【質 問】 野村信介 議員

▼中学生のクラブ活動について

教員の働き方改革に伴い、中学生の部活動が地域クラブ活動へ移行しつつある。特に週末の部活動は、保護者や民間の関係者に委ねられる計画だと聞いている。その場合、各家庭の時間や金銭的負担は、少子化著しい当村では、子供数の多い地域よりも高くなると危惧する。また、こ

の移行準備に混乱を生じている市町村もあると聞く。クラブ活動の指導者の確保も懸念する。子供たちにより充実した部活動、そして保護者に負担が増えないものにするために、村の準備はいかほどか。

▼山添分校について

村長と教育長は、山添分校の令和8年度の入学試験を実施しないと決めたが、関係者への説明は行き届いているか。すでに、分校の生徒と保護者会に丁寧な説明をするよう要望したが、さらに、生徒たちの出身地の教育委員会などにも、なぜ入学試験を実施しないのか、丁寧な説明をすべきであると考えるが、村長・教育長のお考えは。

【答 弁】

池住 教育長

奈良県の部活動地域移行は、教員の働き方改革と子どもの多様な活動機会の確保のため、令和8年度からは休日における教員による学校部活動の指導を廃止する方針である。保護者の皆様からは、指導者の確保や試合の引率など、金銭的・時間的負担が増えることへの懸念があることは十分に承知している。部活動への参加は生徒の自主的・自発的な意思に基づくものであり、全員が必ず加入するものではなく、山添中学校でも、全生徒が加入をしているわけではない。部活動地域移行により、現在には参加していない生徒を含め、全

員がより公平な機会を得られるかといった視点のもと、特定の種目に配慮するのではなく、生徒が自身の興味や生活環境に合わせて、活動するかないか、どの活動を選ぶかを自由に選択できることがこれからのスタイルになる。部活動が、地域クラブの活動へ移行するということは、学校教育の一環であった活動が社会体育活動の位置づけとなる。社会体育組織である村スポーツ協会や既存スポーツクラブには、既に一般の方々や中学生小学生も参加し、活動しているクラブがいくつもある。そのようなクラブを始めとして、全体的支援を検討していくことが、児童生徒のみならず、村民全体のスポーツ活動の質の向上や、選択肢を増やすことになると考えている。なお、ご指摘の金銭的な負担については、各クラブの活動の実状に合わせた参加費を集めているところである。また、指導者の確保についても苦労されているとの声も聞いている。特に休日の指導に皆様方のご協力が必要であり、よろしく願います。

次に山添分校について、村教育委員会では既に令和8年度以降の入学生募集をゼロと定めたので、本年の奈良県立高等学校入学者選抜実施要項には掲載されていない。また、その旨、文書にて奈良県教育委員会、伊賀市名張市の各教育委員会及び、奈

良県内公立私立を問わず全ての中学校高等学校等に対して各市町村教育委員会等を通じて周知をお願いした。ただし伊賀市名張市の両教育委員会に対しては、県外ということもあり、平素から特に分校に関わって連携を密にしている。また、保護者、出身の教育委員会に対して説明にうかがうことは考えていないが、学校長と十分、意思疎通を図りたいと思う。なお、募集の停止について、保護者、各中学校及び各教育委員会等からの問い合わせがあったとの報告は私の耳に届いていない。

【質 問】

大屋戸伸之 議員

▼公共施設の照明のLED化について

従来の蛍光管は2027年で製造停止となるが、LED化をどのように計画しているか。リースを活用し、一括で全公共施設の照明をLED化してはどうか。初期投資費用がかからず、契約期間中はメーカー保障が受けられ修繕費も不要。リース期間終了後は照明が無償で譲渡される契約もある。既存の照明器具を使用しLEDの交換できる「管交換方式」であれば、費用も抑えられる。特に、災害発生時の指定避難場所になっている公民館や分館は、非常照明のついた機器にすることで夜間も安心できるが、村の方針をお尋ねする。

▼道路の維持管理作業員の増員について

道路の維持管理について一般の方では道路にのしかかってきている高所の竹や樹木等の撤去・除去まではできない。また、現在の村の作業員の人数や装備では到底対応ができないと思われる。のしかかる露木によって、道路が狭くなり事故を誘発する危険性が高くなる。道路は重要なインフラであり、作業員の増員を含め今後、どのように考えておられるか、ご見解をお尋ねする。

【答 弁】

野村 村長

公共施設のLED化について、多くの公共施設が老朽化している中、個別に施設が必要かどうかの調査、見直しを今後行っていく予定である。その調査結果で、今後も維持継続と判断した公共施設については、予算を計上しLED化を進めてまいり。リースでのLED化については、買い取りでの設置及び維持経費と比較検討し判断したいと思う。また村の指定避難所については、東山公民館などの主要施設から順次LED化を進め、各大字の1次避難所のLED化については、「公民館分館等整備補助金」を活用していただくことを考えている。

次に、道路作業員について、村道の維持管理の専属作業員として4名の会計年度任用職員を雇用し、地域住民主体の取組である「道づくり」とし

て草刈りなど作業いただいている区間以外をカバーしている。しかし、本村の少子高齢化や若者が村を離れるなどによる人口減少の進行が顕著になってきており、道路維持管理に対し「もっと村にお願いしたい」「もっと関与を強めてもらいたい」との多くの声が届けられている現状について憂慮している状況である。ご指摘の作業員増員について、現在雇用している皆さんも比較的高齢であり、維持管理を重点的に実施する夏の猛暑での人力による草刈り・側溝清掃作業は命の危険とも隣り合わせとなる過酷なものとなるなど、厳しい作業環境は人材確保も難しく、人力作業員を増員することによる作業力の強化は難しいと考えている。道路沿線の立木の露木払いや伐採なども含め、多くの声にお応えするためには、作業効率の高い重機作業が可能な地元建設業者様にご協力をお願いできないか現在検討中である。また、道路際の草は作業後に防草シートを設置して繁茂を抑制することと、将来的な作業労力と経費軽減策も同時に図っていきたいと考えている。なお、現在雇用している作業員体制は現状を維持し、より村民の細やかな要望に小回り良く対応するためにお力添えいただく予定である。



12月				11月		10月	月
15日	11日	10日	4日	27日	20日	22日	日
議会全員協議会 第4回議会定例会再開	総務委員会	文教厚生委員会	議会全員協議会 第4回議会定例会開会	正副議長並びに各委員長会議	全員協議会	全員協議会	議会名

議会のあゆみ

補正予算の内容 (単位：千円)

○令和7年度一般会計補正予算 (第5号)

補正前の額	補正額	計
4,086,961	55,532	4,142,439

村民税過年度還付金、後期高齢者医療給付費負担金、心身障害者医療費助成金、畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業補助金等

○令和7年度一般会計補正予算 (第7号)

補正前の額	補正額	計
4,142,439	3,374	4,145,867

物価高対応子育て応援手当等

○令和7年度簡易水道事業会計補正予算 (第2号)

【収益的収入及び支出】

	補正前の額	補正額	計
収入	205,137	0	205,137
支出	278,672	2,000	280,672

地方創生臨時交付金を水道料金の財源とするための更正、分筆登記業務委託料

【資本的収入及び支出】

	補正前の額	補正額	計
収入	636,471	10,180	646,651

地方創生臨時交付金

○令和7年度国民健康保険特別会計補正予算 (第3号)

【事業勘定】

補正前の額	補正額	計
473,290	5,105	478,395

システム改修委託料、国庫負担金等返還金等

○令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号)

補正前の額	補正額	計
90,030	2,343	92,373

システム改修委託料

○令和7年度介護保険特別会計補正予算 (第2号)

補正前の額	補正額	計
625,340	62,201	687,541

システム改修委託料、施設介護サービス給付費、第1号ケアマネジメント事業委託料等

令和7年分 確定申告のお知らせ

確定申告相談期間

2月16日(月)～3月16日(月) (土日・祝日は除く)

午前9時～午前11時 ・ 午後1時～午後4時

申告相談会場 役場1階会議室 (※相談時間は、ご予約時間から前後することがあります。)

山添村申告会場での相談内容変更のお知らせ

下記に該当する申告のある方は、山添村申告会場ではお受けできませんので桜井税務署が開催する確定申告相談で申告をお願いします。(桜井税務署での相談受付については、15ページをご覧ください)

- ・住宅ローン控除を受けたい方で、入居1年目の方 (初めて認定を受ける方)
- ・災害の控除 (雑損控除、災害減免法の軽減など)
- ・譲渡所得 (長期、短期ともに 株式や土地等の売買)
- ・株式配当所得
- ・利子所得
- ・事業などを開始して初めての申告
- ・青色申告
- ・山林所得
- ・贈与税、相続税、消費税等の国税の申告
- ・過年度分の申告、準確定申告

当日で持参いただくもの

- ・マイナンバーカードと本人確認書類
マイナンバーカードの2つの暗証番号 (署名用電子証明書: 英数字6文字以上16文字以下、利用者証明用電子証明書: 数字4桁)
- ・税務署からのハガキ、封筒
- ・所得計算に必要な帳簿書類等および源泉徴収票
- ・国民年金保険料等支払証明書、生命 (地震) 保険料などの所得控除に必要な書類
- ・還付申告をされる方は通帳など口座番号がわかるもの等

確定申告相談は事前予約が必要です!

予約をせずにお越しいただいた場合は申告相談をお受けすることができませんのでご注意ください。

◆予約方法

- インターネットの場合、下記URLまたはQRコードから申請ページに進み、内容に沿ってご入力ください。
 - ▶予約受付時間 2月1日(日)～3月6日(金)
24時間 (当日の予約はできません) ※予約が埋まり次第終了します。
 - ▶申込URL <https://logoform.jp/form/qBJB/1393456>
- 電話の場合、希望日時・氏名・住所・電話番号・申告内容 (昨年申告された方で収入の種類に変更がある場合はその内容) をお聞かせください。
 - ▶予約受付時間 平日の午前8時30分～午後5時00分 (土日・祝日は除く)
 - ▶電話番号 85-0043 ※先着順となりますので、ご希望に添えない場合はご了承ください。



▲QRコード

山添村申告相談会場での還付申告相談について

山添村申告相談会場では期間中、確定申告等の相談が集中します。このうち、還付申告は期間終了後も年間を通して申告することができますので、申告時の混雑緩和にご協力ください。

なお、申告については桜井税務署での相談のほか、スマートフォンやパソコンを使用すれば、ご自宅で確定申告書を作成し、そのまま提出することができます。

確定申告書等作成コーナーURL

<https://www.keisan.nta.go.jp/kyoutu/ky/sm/top#bsctrl>



▲QRコード

桜井税務署が開催する確定申告作成会場での申告相談等について

確定申告会場は「桜井市商工会館3階」です。

所在地 桜井市大字川合260番地の2

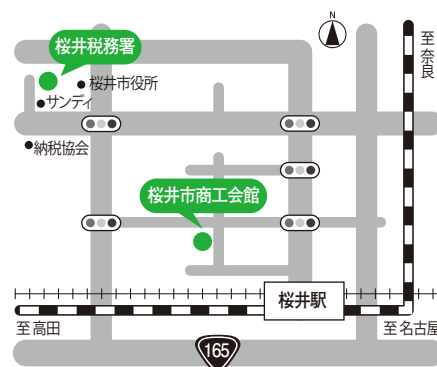
(JR・近鉄桜井駅から徒歩5分)

開設期間 2月16日(月)～3月16日(月)

※土・日・祝日は開設していません。

開設時間 午前9時～午後5時(受付午前8時30分～午後4時)

※会場の状況に応じて早めに終了することがあります。



- ・会場の入場には「入場整理券」が必要です。オンラインの事前予約が便利です。
(国税庁LINE公式アカウントの友だち追加から行います)
 - ・当会場では原則スマートフォンによる作成となります。
 - ・マイナンバーカード及びマイナンバーカードの2つの暗証番号(署名用電子証明書:英数字6文字以上16文字以下、利用者証明用電子証明書:数字4桁)を持参してください。
 - ・当会場では、納税はできません。納税につきましては、キャッシュレス納付をご利用ください。
 - ・当会場では、作成済みの申告書等の受付はしていませんので、郵送又は税務署の窓口へお願いします。
(提出用のみ。控用に収受日付印の押なつを行いません)
- 郵送先 〒661-8524 兵庫県尼崎市若王寺3丁目11番46号
大阪国税局業務センター阪神分室
- ・電話でのお問合せは、桜井税務署(☎0744-42-3501)に電話していただいた後、自動音声案内に従い「0」を選択してください。



QRコード▶

住民税(村民税・県民税)の申告について

村民(県民)に対し、その所得に応じてかかる地方税です。確定申告をする必要のない方でも村・県民税の申告をしてください。(税務会計課窓口で行っています)

申告書が必要な場合は税務会計課までお申出ください。

【ご注意ください】

- ・16歳未満の扶養親族の扶養控除はありませんが、非課税限度額の算定に必要となります。
- ・前年中に収入(所得)がなかった人は収入がなかった旨をご記入の上、提出してください。申告がないと税証明(所得証明、課税証明、非課税証明)が発行できません。また、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療保険などの保険料(料)の算定や、他の行政サービスを受ける上でも必要な資料となりますので、必ずご提出ください。

☎ 税務会計課

今月の情報

総務課 85-0041 行政相談、人権相談、情報公開、消費生活相談、議会、選挙、広報、統計、消防、防災、防犯、交通安全などに関すること	総合政策課 85-0040 総合計画、地方創生、定住自立圏構想、業務改革及びデジタル化推進、企業版ふるさと納税、重要施策の総合調整、村長の特命事項などに関すること	税務会計課 85-0043 出納、会計、村税、介護保険料、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料などに関すること	住民福祉課 85-0045 戸籍、印鑑登録、住民票、諸証明、国民年金、児童手当、国民健康保険、後期高齢者医療、福祉医療、介護保険、社会福祉、保健、予防などに関すること
環境衛生課 85-0047 簡易水道、下水道、公害、環境美化、蓄犬、エネルギーなどに関すること	地域振興課 85-0048 商工業、観光、移住定住、地域づくり、ふるさと納税などに関すること	農林建設課 85-0046 農業委員会、農地・農業相談、農林水産、地籍調査、道路、河川、災害復旧などに関すること	教育委員会事務局 85-0049 学校教育、社会教育、社会体育、生涯学習、文化財、公民館などに関すること
山辺環境衛生組合 山辺衛生センター 85-0253	浄化槽維持管理、し尿汲取り	役場の直通番号ご案内 市外局番 ☎0743	

子育て・教育

令和8年度

『山添村放課後児童クラブ』の
利用申請のご案内

「山添村放課後児童クラブ」の利用を希望される方は、申請が必要です。

▼申請期限

令和8年2月9日(月)

午後5時まで

▼必要書類

①利用申請書

(児童館または住民福祉課にあります。)

②保護者の就労証明書など、家庭での保育ができないことを証明できるもの。勤務先などに依頼してください。

▼放課後児童クラブの概要

▼場所 村立児童館・老人憩の家

☎0743・85・0579

▼定員 55人

(定員を超える利用申請があるときは、待機をお願いする場合があります。)

図 住民福祉課



小学校就学児童	
対 象 児 童	やまぞえ小学校に就学している児童で、保護者などが就労などにより日中家庭にいない児童
利用日・時間	月～金曜日：授業終了後～午後7時 第1土曜日：午前8時30分～正午 長期休業日：午前8時30分～午後7時 (夏、冬、春休み期間) ※ただし、国民の祝日、8月13日～15日、12月28日～翌年1月4日の間は除く
利 用 料	月 額 6,000円 ※ただし、8月は月額11,000円(おやつ代含む)

野村医院 2月予定

3月第一週の予定もご覧ください
 ★「冬来たりなば春遠からじ」★
 春はもうすぐです♪

- 午前診は9時～正午。 夕診17～19時。
 - 往診は随時受け付け。
 - 診察の予約は、お電話やメールでどうぞ。
 - * 印は夕診もある日を示す(右表)
- ☎85-0439 ✉ letter@nomuraclinic.pro

月	火	水	木	金	土
2/2	3*	4	5	6*	7
9	10*	⑪	12	13*	14
16	17*	18	19	20	21
⑳	24*	25	26	27*	28
3/2*	3	4	5*	6	7

環境・エコ

パッカー車の火災事故が発生しました

12月の燃えないごみの収集時に、パッカー車から出火する事故が発生しました。原因は、燃料が残った状態で排出されたライターで、パッカー車でごみを圧縮した際に、発火したと考えられます。ライターは燃料を使い切ってから排出してください。

その他のごみについても、今一度ごみ分別ガイドブックをご確認いただき排出するようお願いいたします。



パッカー車消火の様様

※ライターに燃料が残っている場合は、点火レバーを押し下げた状態で輪ゴム等で固定しガス抜きを行ってください。なお、ガス抜き作業を行う際は、火気がないか確認のうえ換気のできる風通しの良い場所で行ってください。排出前に点火しないかどうか確認したうえで排出するようにしてください。

問 環境衛生課

募集・相談

公務員をめざす方むけ説明会を開催

南部東部19市町村・県職員

日時 2月28日(土)

午後0時30分～5時30分

(午後0時～受付)

場所 奈良商工会議所(奈良市)

県南部・東部の19市町村と県が出展する合同業務説明会を開催。採用担当者や若手職員から地域の魅力、仕事のやりがいなどを直接聞ける貴重な機会です。会場では就活に役立つ応援講座も開催。

詳細や申込は左記HPから。

《新卒》



《既卒》



締切 2月27日(金)

(申込多数の場合は早期に締め切ります)

問 県美しい南部東部振興課

0744・48・3015

自衛官を募集します

自衛官候補生

資格 18歳以上33歳未満

受付期間 随時

試験日 受付時に通知

◆その他募集種目◆

・一般曹候補生
・航空学生

・防衛医科大学校医学科学学生

・防衛医科大学校看護学科学学生

・防衛大学校学生

◆自衛隊説明会のお知らせ◆

日時

午前9時～午後5時まで自由参加

場所 自衛隊天理募集案内所

(天理駅徒歩1分)

◆説明内容 就職、進学、福利厚生、その他質問事項等ご説明します。詳しくは、自衛隊天理募集案内所までお問い合わせください。

問 自衛隊天理募集案内所

0743・63・2540

その他

企業版ふるさと納税の寄附をいただきました

株式会社オフィス・I・C(代表取締役・尻無濱啓造様)からご寄附をいただきました。

同社は、山添村スポーツセンターで活動する特定非営利活動法人レックススターベースボールクラブを運営されています。

同社からいただいたご寄附は、村の主要事業に活用させていただきます。

問 総合政策課

税・保険

健康・福祉

子育て・教育

環境・エコ

募集・相談

イベント・催し

その他

広告

ならこーフ 夕食宅配

山添村全域が配達可能となりました!

健康を気づかう方、毎日の食事づくりが大変な方におすすめ♪
管理栄養士が監修「家庭の味」にこだわってさまざまな料理をお届け。
飽きない日替わりのおかず・お弁当コースです。

お申し込み・
お問い合わせは

☎0120-577-039

(通話料無料)

夕食宅配についてのお問い合わせやご注文は、音声ガイダンスにしたがってプッシュボタン②を押してください。
ならこーフではコールセンターでお受けする電話について、御会費様からのご意見を正確に聞き取るため、通話内容を録音させていただきます。ご意見はサービス向上のためにのみ利用いたします。あらかじめご了承ください。

携帯電話・
IP電話からは 0743-68-3100

携帯電話・IP電話からの場合、通話料はお客様ご負担となります。

受付時間:月～土
朝8時30分～夜8時まで
(土曜日は夜5時30分まで)

※写真は『おかずコース』の一例となります



人気No.1

管理栄養士が考えた毎日変わる献立
6種のおかずをお届け

おかずコース

4日間 2,500円
5日間 3,125円
お支払 2,700円 3,375円

2024.9

自動車の移転登録の案内

毎年3月末は、決算期や自動車税の賦課期日の終期等による影響を受け、自動車の検査・登録の各種申請が窓口で集中します。

この時期は、申請者の皆さま方には長時間お待ちいただくなど大変ご不便をおかけすることとなります。

このような状況を緩和するため、自動車の移転登録（名義変更）や抹消登録（廃車）等の各種手続き及び検査につきましては、できるだけ早期に済まされるようお願いします。

登録及び検査関係の案内につきましては、自動車検査登録総合ポータルサイトにて必要書類等のご案内をしているほか、ヘルプデスク「☎050・5540・2063」でもご案内しています。（自動音声案内は24時間ご利用可能）



問 近畿運輸局奈良運輸支局

☎050・5540・2063

奈良いのちの電話

相談員養成講座

さまざまな悩みを持った人や、生きる気力や望みを失った人たちを支援するための電話相談員の養成講座

を開催します。

▼開講期間（予定）

令和8年4月25日～令和9年9月27日

①養成講座

（前期）4月25日～8月1日
（後期）8月22日～11月21日
原則毎週土曜日午後2時～4時

②インターン研修

令和8年12月～令和9年9月
毎月概ね2回の電話相談実習（全期で深夜帯1回を含む）および研修会など先輩相談員が電話実習をサポートします。

▼場所

社会福祉法人
奈良いのちの電話協会3階
（奈良市西大寺本町8-27）

▼募集定員

50名

▼受講料

養成講座（前期）（後期）
各25,000円

宿泊研修参加別途10,000円
インターン研修 10,000円
（令和8年12月～令和9年9月の期間）

▼受講資格

21歳以上73歳未満で、当協会相談ボランティアとして奉仕する志を持つ方

問 社会福祉法人

奈良いのちの電話協会

☎0742・35・0500

令和8年の区長さんをご紹介します

今年一年よろしくお願い申し上げます。

大字	氏名
室津	吉谷 淳至
松尾	中尾 元度
的野	今窪 久
峰寺	丸尾 勝義
桐山	中峯 喜浩
北野	大住 正師
春日	坂本 晃利
大西	吉田 康文

大字	氏名
菅生	岡 雅己
上津	窪田 久雄
下津	井久保 経
遅瀬	若山 哲也
中峰山	池ノ内 宏達
広代	吉住 公雄
中之庄	砂本 妙顕
吉田	今谷 都世志

大字	氏名
広瀬	中森 一雅
鵜山	今西 純子
片平	福山 由記夫
葛尾	寺島 善一郎
三ヶ谷	中岡 寛
勝原	辻 闘志男
岩屋	北村 康弘
毛原	大久保 倍宏

大字	氏名
切幡	川畑 敏明
伏拝	窪田 和也
助命	茶谷 修
箕輪	川田 英昭
大塩	柳生 元啓
堂前	北浦 隆雄

広報やまぞえに広告を掲載しませんか

有料広告掲載欄に広告を掲載する広告主を、毎号募集しています。店や会社のPR、催しごとの案内などにお気軽にご活用ください。



問 総務課



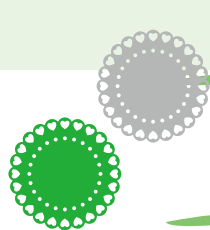
OA 機器の総合商社

奈良OAシステム株式会社

オフィスの事ならお任せ下さい！

複合機、プリンター、スチール家具、ビジネスフォン、防犯カメラ
ソフトウェア開発、ネットワーク構築、DX 推進、IT 機器保守サービス

本社	〒635-0001 奈良県大和高田市大字松塚 755 番地 1 TEL 0745-23-7000 / FAX 0745-23-7300
奈良支店	〒630-8141 奈良県奈良市南京終町 3 丁目 1528-6 奈良 OA ビル 3F TEL 0742-50-1801 / FAX 0742-50-1804
三重西部支店	〒518-0627 三重県名張市桔梗が丘 7 番町 3 街区 41 番 TEL 0595-44-6666 / FAX 0595-44-6667
オフィススタイルラボ	〒635-0001 奈良県大和高田市大字松塚 386 番地 3 TEL 0745-25-5770 / FAX 0745-25-5771



診療所だより

— 山添村の皆さまへ —



食事のできるがん予防のススメ

こんにちは！ 今回のテーマは「がん予防」。誰にとっても他人事ではない、大切な話です。これから数回にわたり、毎日の生活の中でできる「がん予防」について、わかりやすくお伝えしていきます。第1回目の今回は、「食事とがん予防」がテーマです。

がんと生活習慣の関係

がんは遺伝だけが原因ではなく、生活習慣が大きく関係することがわかってきています。中でも「食事」は、がんのリスクを高めたり、逆に予防したりする重要な要素です。

アメリカがん協会が2020年に発表した「がん予防のための食事と身体活動に関するガイドライン」でも、食生活の改善が強く推奨されています。以下に、その内容をかみ砕いてご紹介します。

① 野菜や果物をできるだけ多く摂りましょう

野菜・果物・全粒穀物・豆類といった植物性食品には、食物繊維やビタミン、ミネラル、抗酸化物質が豊富に含まれています。特に大腸がんや乳がんのリスクを下げることで研究で示されています。

最近では、「腸内細菌」と「食物繊維」の関係にも注目が集まっており、未加工の野菜や果物を多く摂ることで腸内環境が整い、がんの予防につながるという報告も増えています。

※ここでの「未加工」とは、工場などで加工された食品ではないという意味であり、ご家庭で調理されたもの（煮る・茹でる・炒める）などを意味するものではありません。野菜は野菜ジュースなどではなく、丸ごとの野菜や果物を毎日の食事に取り入れましょう。



② 加工肉は控えめに

ハム、ソーセージ、ベーコンなどの加工肉は、国際的にも「発がん性がある」と指摘されています。

とはいえ、少量をたまに食べるくらいなら問題はありません。大切なのは、「習慣」にしないこと。特に子どもの頃から頻繁に食べると、大人になってからの健康に影響する可能性があると考えられています。

③ 飲酒はほどほどに

アルコールは乳がん、口腔がん、肝臓がんなどとの関連が明らかになっています。

日本酒なら1日1合(約180ml)、ビールなら中瓶1本(500ml)を目安に、できるだけ控えめを心がけましょう。無理にゼロにする必要はありませんが、少し見直すだけでも健康への影響は大きいのです。

④ 高カロリー食品や加糖飲料は避けよう

ケーキやジュースなど、簡単に多くのカロリーを短時間に摂ってしまう食品は、過体重や肥満の原因になり、それががんのリスクになります。

例えば、300kcalのケーキは一瞬で食べられますが、同じカロリーをリンゴで摂ろうとすると約3個分。たいていの人は3個も食べられませんよね？

こうした「高カロリーの加工食品」は自然な食品とはいいがたく、控えることが大切です。体重を適正に保つことが、がんをはじめとした生活習慣病の予防につながります。

最後に

がん予防は、特別なことをする必要はありません。毎日の「ちょっとした選択」の積み重ねが、大きな違いを生み出します。次回も生活の中でできるがん予防のヒントをお届けします！

東山・豊原診療所 担当医師：吉川 健治

村内 イベントカレンダー

2 月

村主催の催しなどを1カ月分のカレンダーにまとめました。

皆さんの予定なども書きこんでいただき、自分だけのカレンダーとしてご活用ください。

[1/26 ~ 3/8]

月	火	水	木	金	土	日
1/26	1/27	1/28	1/29	1/30	1/31	1 ㊟ 絵画教室 (波多野公) リサイクル物品 回収日①
2 村・県民税 国民健康保険税 介護保険料 後期高齢者医療保険料 納期限	3	4 てんくるひろば 「作ってあそぼう テーマにそった お遊び会」 ㊟ 毛筆に親しもう (東山公)	5	6	7	8 リサイクル物品 回収日②
9	10 ㊟ ペットボトル キャップで オリジナル キーホルダーを 作りましょう (東山公)	11 ※ 建国記念の日	12 人権相談・ 行政相談 9:00~11:30	13	14 ㊟ 和太鼓教室 (東山公) ㊟ 簡単ヘルシー クッキング チョコバナナケーキ (豊原公)	15 ㊟ 健康のための 運動 (波多野公)
16	17	18 乳幼児健診 園開放 「こども園さらいで 遊ぼう」 ㊟ 毛筆に親しもう (東山公)	19	20	21	22
23 ※ 天皇誕生日	24 ㊟ かぎ針編み教室 (東山公)	25	26	27	28	3/1
3/2 固定資産税 国民健康保険税 介護保険料 後期高齢者医療保険料 納期限	3/3	3/4	3/5	3/6	3/7	3/8

カ
レ
ン
ダ
ー
の
見
方

◇ 緑色の欄は役場が休みの日です。

◇ ㊟ は公民館事業の「生涯学習教室」を表しています。※名称が長い教室名は略称を使用。

◇ 「リサイクル物品回収日」の「①」「②」はグループが分かれていることを表しています。

環境衛生課発行の「家庭ごみの分け方・出し方」のポスターでご確認ください。

お悔み 申し上げます

[12月届出]

平田 智江 様
(100歳 中峰山)
中山 勝功 様
(81歳 春日)
田中 滋 様
(89歳 菅生)

永年、山添村のためにご尽力いただき、ありがとうございました。
心よりご冥福をお祈り申し上げます。
※ご遺族より、許可を得た方のみ、掲載しています。

村の人口

[令和7年12月末現在()は前月比]

人口：2,965人 (－9)
男性：1,429人 (－6)
女性：1,536人 (－3)
世帯数：1,305世帯 (－2)

12月中の移動

出生：0人
死亡：3人
転入：2人
その他増：0人
転出：8人
その他減：0人

山添村に住所がある人の動きを表しています。

山添俳句教室「一月句会より」

「冬 芽」

山本ヒロ子選

まろまろとはずみにはずむ寒雀 増田 笑子
あおによし平城宮社柳散る 椋本 房江
年賀状「今年限り」といふがあり 尾上 正典
紋付きで今年も来たるひたき鍋かな 坂上 優子
芋頭ま中にどんと雑煮碗 田畑 茂代
冴ゆる夜の星語るかに瞬ける 谷村 賢二
お降りに白きの混じる峡の宮 馬場 菜摘
料亭の赤き番傘雪しぐれ 西岡たか代
若き友星とはなりぬ年の暮 takanana
太き腕しなやかに打つ走り蕎麦 川 蟬

峡の里野焼き煙に包まるる 白 梅
退院に嫁編み呉れし毛糸帽 東 直
庭先に突如舞ひ込む朴落葉 楓 月
山間にぼつりぼつりと寒灯 秋 桜
園児らの吐く息白くバスを待つ 敏 律
国原に天使の梯子初景色 山本ヒロ子

■冷たい寒気が波のように大陸から押し寄せて来る寒波。人も動物も小さい木の芽も、じつと寒さに耐えて春の来るのを待っています。
木々冬芽凍のゆるみに濃紫 (前田普羅)

毎月11日は人権を確かめあう日
人権相談・行政相談を開設します

日程 2月12日(木)

時間 午前9時～11時30分

場所 役場 会議室1-4

総務課

電話による人権相談・

行政相談をご活用ください

◎人権相談

みんなの人権110番

☎0570・003・110

◎奈良地方法務局

◎行政相談

行政苦情110番

☎0570・090・110

◎奈良行政監視行政相談センター



てんいち先生

1月11日

山添村20歳のつどい



ふるさとセンターふれあいホールで20歳のつどいが開催され、17名が参加されました。
式典では、20歳を代表して北村啓さんきたむらけいが「この山添村で、小学校・中学校を共に過ごし、学びあった私達が本日こうして再会を果たすことができたこと、大変嬉しく思います。」と述べられました。

後半の歓談会ではてんまるくんと写真を撮ったり、小中学校を共に過ごした仲間や恩師と思い出話に花を咲かせていました。



あとうき

20歳という人生の節目を迎えられた皆様、本当におめでとうございます。

皆様が、ふるさとを大切に思い、それぞれの場所で輝かれることを願っています。



広報やまぞえは山添つながりアプリ「めえめえ」でもご覧いただけます。



android 版



ios 版

広報やまぞえ 2月号

No.712

(令和8年2月1日発行)

発行・編集 | 奈良県 山添村 総務課

TEL: 0743-85-0041 / FAX: 0743-85-0219

〒630-2344

奈良県山辺郡山添村大字大西 151 番地

公式 HP | <https://www.vill.yamazoe.nara.jp/>

(右の QR コードからもご覧いただけます。)

